

令和5年度第2回静岡市競輪運営協議会 会議録

- 1 日 時 令和6年1月22日(月) 11時~12時
- 2 場 所 静岡競輪場 メインスタンド4階会議室
- 3 出席者 (委員) 市川委員、加藤委員、宮澤委員、望月委員、
大村委員、松谷委員、佐藤委員、遠藤委員、
鈴木委員、八子委員、大長委員、大石委員、
三浦委員
(事務局) 突田次長、杉山参事、中西次長補佐、別府主査
- 4 傍聴者 0人
- 5 議 題
 - (1) 令和6年度事業計画案について
 - (2) 令和5年度2月補正予算案及び令和6年度当初予算案について
 - (3) その他

6 会議内容

中西次長補佐：

本日は、大変お忙しい中をご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、ただ今から、「令和5年度第2回静岡市競輪運営協議会」を開会いたします。

はじめに、お配りした資料の確認ですが、表紙に「令和5年度第2回静岡市競輪運営協議会」とある資料と委員名簿となっております。よろしいでしょうか。

それでは、これより静岡市自転車競走実施条例第7条第7項により、遠藤委員長に議事、進行をお願いいたします。

遠藤委員長：

本日は、大変お忙しい中を、委員の皆様にはご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

これより、令和5年度第2回静岡市競輪運営協議会を開会します。それでは、次第に従いまして進行していきたいと思っております。

次第1の令和6年度事業計画案について、事務局より説明をお願いします。

突田次長：

次第1の令和6年度事業計画案（資料3ページから6ページまで）について説明

遠藤委員長：

事務局の説明に対し、質問、意見等ありますか。

市川委員：

大型映像装置の耐用年数は何年ですか。

突田次長：

15年程度です。平成21年に設置したもので、耐用年数を迎えることになります。

松谷委員：

施設の改修については、当初の計画どおり現状行われているのでしょうか。

突田次長：

競輪事業自体が収益事業となるため、その収益の中から施設整備基金に積み立てを行い、それを財源として計画を立てながら行っています。

大石委員：

平成20年ころから耐震改修を行い、それに合わせて施設整備を進めまして、概ね終了したところでは。

施設整備基金の残高が今年度末で約39億円、来年度の改修工事で使用しても来年度末には約28億円残る予定となっております。これらを財源として、改めて今後10年、20年の施設整備計画を作らせていただきます。

加藤委員：

能登地震の関係で金沢競馬場が宿营地となったように、静岡競輪場での防災面での取り組みなど、今後考えていることがあれば教えてください。

突田次長：

競輪場は避難所とはなっていませんが、近隣の方が避難してくる可能性もあるので、今後検討は必要か
と思います。ちなみに選手宿舎は消防などの受け入れ場所に利用されることとなっています。

三浦委員：

大規模災害時には、競輪場駐車場も遠方からの受け入れ場所として指定されています。

宮澤委員：

この施設整備によってどのくらいの期間、本場が開催できないのか。また開催ができなかった分はいつ
振り替えて開催されるのでしょうか。

突田次長：

令和6年2月1日から2月4日まで開催する記念競輪終了後に施設整備に入る予定ですので、令和6年2
月中旬から10月末までは本場開催ができません。開催できない分は一部を令和5年度に振り替えていて、
令和7年度以降の振り替える時期は未定となっています。

宮澤委員：

お客様も関心があると思いますが、お客様には今後どのような形で案内されるのでしょうか。

突田次長：

お客様には日程カードなどで案内する形になります。

遠藤委員長：

質問、意見等も無いようです。続きまして、次第2の令和5年度2月補正予算案及び令和6年度当初予
算案の説明を事務局からお願いします。

突田次長：

次第2の令和5年度2月補正予算案及び令和6年度当初予算案（資料6ページから7ページまで）につ
いて説明

遠藤委員長：

事務局の説明に対し、質問、意見等ありますか。

松谷委員：

令和6年度は本場開催が減る一方で、これだけ勝者投票券発売収入が増えるのでしょうか。

突田次長：

これまでの競輪グランプリシリーズの売上実績を見ると、令和4年度の平塚市が約131億円、令和5年
度の立川市が約141億円となっており、売上が伸びている状況から令和6年度の競輪グランプリシリーズ
の売上は150億円で予算要求しております。

松谷委員：

令和6年度に開催するのは競輪グランプリシリーズだけではないので、勝者投票券発売収入の予算が51
億円増えている内訳を知りたい。あとインターネット投票の売上についてどのように分析されていますか。

突田次長：

勝者投票券発売収入の予算は前年度と比べて競輪グランプリシリーズの開催で150億円増、記念競輪の開催が5億円減、普通競輪の開催が開催日数の減少により94億円減、合計で51億円増となっております。

松谷委員：

時効収入について説明をお願いします。

突田次長：

的中した車券の払い戻し期間の60日が経過して、時効により収入するものです。

松谷委員：

お客様で何人くらいの方が払い戻しに来られないのですか。

突田次長：

人数は把握できていませんが、参考に令和4年度の時効収入が約3,300万円、また令和3年度に開催された静岡競輪グランプリシリーズの時効収入が同じく約3,300万円となっています。

三浦委員：

松谷委員より質問がありましたインターネット投票の売上は、現在、全体の売上75%から80%を占めています。先ほど時効収入について事務局より説明がありましたが、インターネット投票は即時決済となり、時効という概念はありませんが、実際に競輪場で車券を買われたお客様の中で、払い戻し有効期間60日の間に払い戻しに来られなかった場合など一定の収入がありまして、これまでの実績から見込んで予算要求しています。

大村委員：

JKAの八子委員に伺いたいのですが、今7車立てが主流になっていますが、今後また9車立てに戻ることはないのですか。

八子委員：

2020年頃にコロナウイルスの感染対策として、参加選手を減らそうと7車立てのレースを増やした以降、競輪の弱点である当たりづらいという部分が緩和され、インターネット投票も増えてきてお客様に支持されていることも踏まえて、今後どうするのかは議論すべきだと思います。

遠藤委員長：

質問、意見等も無いようです。続きまして、次第3のその他について事務局から報告をお願いします。

突田次長：

次第3その他について報告します。

1点目は、年末の停電発生についてです。12月30日の立川グランプリ場外発売終了後、19時過ぎに場内で停電が発生し、復旧の目途が立たなかったことから、元日からのミッドナイト競輪を中止いたしました。原因は場内受変電設備へ引き込みする高圧ケーブルの漏電でした。年末年始でしたが、急遽、中部電力や市内電気業者に対応をお願いし、31日夕方に復電しました。その後元日から場内設備の点検を実施し、1月3日に場外発売の準備処理ができたことから、1月4日から場外発売を再開しました。中止したミッドナイト競輪での車券売上額は9～10億円程度と見込まれ、収益はおよそ7,400万円程度と推測されます。今後はこのようなことがないよう施設整備等を行ってまいります。

2点目は、競輪グランプリシリーズの開催についてです。皆様のご協力もあり、静岡競輪場において、3回目となる競輪グランプリシリーズを令和6年12月28日(土)から12月30日(月)にかけて開催す

る運びとなりました。今後、開催に向け、中央団体や受託者等と連絡を密にし、来場者や参加選手、関係者の安心、安全に配慮した開催を運営できるよう準備を進めていきますので、委員の皆様につきましてもさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

3点目は、場内改修工事についてです。令和6年度事業計画案でご説明いたしましたが、年末の競輪グランプリシリーズの開催に向けて、2月の記念競輪開催終了後から10月末までの期間で、経年劣化している競走路を、アスファルト部分から打ち直し改修します。また、競走路改修工事により本場開催ができない期間に合わせて、選手宿舍の空調、衛生設備等を更新する改修工事も実施します。

4点目は、特別競輪等の開催申請についてです。令和7年度の特別競輪等は、日本選手権競輪の開催を申請します。

最後に、記念競輪の開催についてです。来月2月1日（木）から4日（日）の4日間にかけて、開設71周年記念競輪を開催します。この開催は能登半島地震復興支援競輪に位置付けられ、収益の一部が支援金として被災地復興に活用される予定ですので、委員の皆様もご協力をお願いいたします。その他について説明は以上です。

遠藤委員長：

事務局の説明に対し、質問、意見等ありますか。

松谷委員：

漏電によってかなり損失がでたとのことだが、保険での補償などあるのでしょうか。

突田次長：

今回の施設の漏電に関しては保険の適用はありません。

松谷委員：

今後、施設の管理上の課題などがあれば教えてください。

突田次長：

これまで計画に沿って施設整備を行ってきましたが、老朽化している部分も残っておりますので、今後も継続して施設の点検には努めてまいります。

三浦委員：

今回の停電の件、大変申し訳ありませんでした。昨年11月に実施した場内の電気設備の点検では特に異常はありませんでした。高圧ケーブルは2本ありまして、今回そのうち1本が漏電となったため、切り離して残りの1本で運用している状況です。残りの1本の高圧ケーブルも時間が経過しているため、高圧ケーブルを調達するのに時間がかかる状況ではありますが、できる限り早く交換したいと考えています。

鈴木委員：

来年も大きな競輪を誘致しようとする中で、だんだん競輪の専門的知識を持った職員が少なくなっている。これは副市長にお願いしたいが、関係団体とのパイプ役や職員の育成のためにもOBなどを活用して専門的な職員を置くように考えてもらいたい。

遠藤委員長：

副市長いかかですか。

大長委員：

競輪は特殊な業務になりますので、考えてみたいと思います。

加藤委員：

能登半島地震復興支援競輪について、周知などはこれからだと思いますが、具体的に支援する金額など教えてもらえますか。

突田次長：

令和6年2月1日以降に開催する全国の記念競輪が対象で、各開催の収益の中から支援することとなっています。まだ正式に金額までは決まっていますが、事前に150万円と聞いています。

大村委員：

地震など災害時に競輪場の選手の宿泊施設を避難者に提供することは可能ですか。

八子委員：

宿泊施設として提供するかは、所有している各施行者の判断となります。

松谷委員：

先ほどの漏電の件は委託先である日本トーターさんの責任になるのでしょうか。

三浦委員：

点検は行っていましたので、責任を追及するのは難しいものと思います。

大石委員：

管理上の瑕疵があれば日本トーターさんの責任となりますが、点検はしっかり行って管理もしていたのであれば、設備の老朽化として判断して、責任は追及できないものと考えています。

鈴木委員：

電気系統ということで開催中に起きたらとんでもない事態になるので、停電の件は重く受け止めて、点検はしっかり行ってください。

大長委員：

高圧ケーブルの漏電とはお客様に対して安全面では問題ないのでしょうか。

市川委員：

高圧ケーブルの場合、リレー部が設備されているので、瞬時に遮断される仕組みになっているので、危害が及ぶことはありません。

遠藤委員長：

質問、意見等も無いようですので以上で全ての議題を終了します。それでは進行を事務局へお返しします。

中西次長補佐：

遠藤委員長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様におかれましても、ご審議ありがとうございました。これをもちまして、令和5年度第2回静岡市競輪運営協議会を閉会します。ありがとうございました。